

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成19年1月-12月](#) > 約40万倍も明るくなったホームズ彗星のバーストを東広島天文台「かなた望遠鏡」が詳細に観測

約40万倍も明るくなったホームズ彗星のバーストを東広島天文台「かなた望遠鏡」が詳細に観測

広島大学学長室広報グループ

〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2

TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040

E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp

(*@は半角@に置き換え送信してください。)

NEWS RELEASE



平成19年11月1日

約40万倍も明るくなったホームズ彗星のバーストを
広島大学・東広島天文台「かなた望遠鏡」が詳細に観測

広島大学宇宙科学センター附属東広島天文台の「かなた望遠鏡」が、先月、約40万倍も明るくなったホームズ彗星のバーストを詳細に観測することに成功しましたのでお知らせいたします。

これまでに発表された画像では全体が円盤状に拡がった構造しか見られていませんでしたが、今回の結果から、彗星からの放出物の移動と拡がりをはっきりわかりました。

別紙の画像が、ホームズ彗星の10月25日から30日にかけての画像です。中心の明るいコマに対して、雲のような光が拡がりながら徐々に遠ざかっていく様子がはっきりとわかります。この光は彗星から放出されたガスとチリの塊が太陽の光を反射していると考えられ、今回の結果は彗星からのガスとチリの放出現象の研究に重要なデータとなります。この塊が彗星から遠ざかる見かけの速度は約毎秒150mにも達します。

なお、今回の観測は、早稲田大学、国立天文台および名古屋大学との共同研究の一環として、東広島天文台かなた望遠鏡(口径1.5m)に、名古屋大学・光赤外線研究室のTRISPECという観測装置を取り付けて観測しました。

ホームズ彗星は、10月24日に突然明るくなっていることが発見された彗星です。現在でも肉眼で見ることができます。ホームズ彗星は、現在、太陽から約2.4天文単位の距離にあり、遠ざかっていっています。地球からの距離は約1.6天文単位です。(1天文単位は太陽と地球のあいだの距離で1億5000万キロメートル)

彗星が太陽から遠ざかりつつある時に明るくなるのは珍しいことです。通常、彗星は太陽に近づくときにガスやチリを放出して徐々に明るくなり、尾を見せるようになります。そして、遠ざかるときには暗くなっていきます。今回の現象では、明るくなる前には約17等級という非常に暗い状態にあった彗星が、突然肉眼で十分に見える2等級台にまで約40万倍も明るくなったのです。この段階でこれほどの明るい増光が見られるのは、非常にまれなことです。

ホームズ彗星についての詳しい情報は国立天文台のホームページでご覧下さい。

<http://www.nao.ac.jp/new-info/17P.html>

【お問い合わせ先】

広島大学宇宙科学センター 助教 川端弘治

TEL:082-424-5765

kawabtkj@hiroshima-u.ac.jp

(@は半角@に置き換えた上、送信して下さい。)

広大公式アカウント一覧


 Twitter


 Facebook
(日本語版)

 Facebook
(英語版)

 YouTube

 行事カレンダー

 ストリートビュー

 キャンパスカメラ

 学内ポータル